

日事 知る あの

京都府知事

山田啓二



◎上海万博京都ウィーク開幕&

京都産業21上海代表処開所

十月十六日(土)・十七日(日)

上海万博で盛り上がる中国上海市。京都の伝統文化や産業を紹介する「上海万博京都ウィーク」の初日、開幕セレモニーに出席した。とにかく人が多い。どこを見ても人、人、人。聞けばこの日、上海万博の入場者数が大阪万博の記録を大きく塗り替える百三万人、万博史上最多記録を更新したとのこと。上海の勢いを改めて感じた。

翌十七日は、上海市内にオープン

する「京都産業21上海代表

処(京都府上海ビジネスサ

ポートセンター)」の開所式

に出席。世界中から投資が

集まり、経済のエネルギー

の中心地になっている中国。

かつてはものづくりの基地

だったが、今は巨大な消費

地でもある。グローバルな

社会では、好き嫌いではな

く、この事実を認識して対

応しなくてはならないと思

う。重要なマーケットとし

てとらえ、ものづくり企業

の多い京都の中小企業の進



出を支援していきたい。目指すは「京都企業集団」を支援する総合的なネットワークだ。

◎地方分権・地域主権を関西から！

関西広域連合の設立許可を申請

十一月一日(月)

関西広域連合の設立許可を総務省に申請するため、同省を訪問。滋賀県、兵庫県、鳥取県、徳島県知事と大阪府、和歌山県の副知事らとともに、副大臣に申請書を提出した。

関西広域連合の設立は、地方分権の推進に向けた重要な一歩だ。東南海・南海地震への備えやドクターヘリの共同運航などの安心・安全対策、また外国人観光客への広域的対応などの課題にも共同して取り組んでいく。国に対しても、出先機関の事務・権限移譲を地方から提起するため、関西の府県がしっかりと団結していくことが重要だ。住民自治の下地方分権・地域主権を進め、関西の浮揚を目指したい。

◎いよいよ開催一年前

来秋開催の京都国文祭にご期待を！

十月三十一日(日)・十一月七日(日)

十月三十一日、来年十月二十九日から開催される国民文化祭・京都2011の開幕まであと一年を切った。プレイベントとして府内市町村でもさまざまなイベントが開催される中、更に機運を盛り上げるべく府が主催する「1年前フェスティバル」に出席。

ステージでは、次世代を担う高校生の皆さんの民話朗読や吟詠剣詩舞、和太鼓などの素晴らしい演



技やシンポジウム、開会式・閉会式

の音楽プロデューサーを務めていた
だく東儀秀樹さんと京都出身の歌手
和紗さんわさによる大会メッセージソン
グ「微笑みの空」の熱唱などが続く。

この歌は、全国の皆さんから寄せられた「こころ」に関するキーワードをもとに東儀さんに作詞いただいた。是非多くの皆さんに口ずさんでいただけるようになってほしい。

十一月七日には、岡山県で開催されていた「第25回国民文化祭・おokayama2010」の閉会式に出席。来年の開催地として、席上で石井岡山県知事から大会旗を引き継いだ。

続いて、会場の皆さんへ、和紗さんの大会

メッセージソングや京都学生祭典の学生さんの情熱的な演舞、舞妓さんからのおこしやすメッセージなど、京都の文化の魅力の一端を披露。

京都国文祭は、全国



に京都の文化の魅力をPRする絶好の機会。これから一年間、府民の皆さんとともに盛り上げ、PRしていきたい。

◎地域の絆が活力の源

府庁周辺クリーン作戦に参加

十一月九日(火)

いつもお世話になっている府庁周辺の地域の皆さんへの感謝の気持ちを含め毎年行われている府庁周辺クリーン作戦に参加した。昼休みを利用し、職員らとともにゴミ拾いなど



を行う。近隣の平安女学院中学校の生徒さんや京都第二赤十字病院の職員の方々にもご参加いただき、約二百四十名での清掃活動となった。地域の人と人との結びつきが、豊かで活力のある地域を導くという信念の下、地域力再生活動に力を入れているが、これも地域力の一端であろう。地域力は安心・安全の源であり、みんなが安心して過ごせ、互いに支え合う京都づくりを進めたい。冷たい風が吹く中ご参加いただいた地域の皆さんへの感謝とともに、改めて決意を新たに、午後からの執務に向かった。